

## 職員のおすすめ図書

v.3.0 2017 MARCH

花園大学の事務職員が選んだ、皆さんにぜひ読んで欲しい本のリストです。コメントを付けて、図書館1階の「おすすめ図書コーナー」に配置しております。貸出することもできます。貸出期間は1週間、貸出延長はできません。



### なみだふるはな

石牟礼道子著

河出書房新社

2012.3

人権教育研究センター 事務職員 首藤晶子

<請求記号>  
914.6/178

この本は、2011年東日本大震災後に行われた、石牟礼道子さん(作家)と藤原新也さん(写真家、作家)の対談をまとめたものです。「水俣」と「福島」、「ふたつの歴史にかかる橋」についての話です。歴史は繰り返す…その言葉通り人の愚かさを知ると同時に、人の崇高さにも感動します。「道子さん、私は全部許すことにしました。チツソも許す。私たちを散々卑しめた人たちも許す。(中略)知らんちゅうことがいちばんの罪ばい。人を憎めば憎んだぶんだけ苦しかもんなあ。許すち思うたら気の軽うなった。(略)」水俣病でなくなった患者さんのことばです。「生きるとは?」、そんなことをしばし考えさせられる、心に染み入る一冊です。



### 自分の中に毒を持って: あなたは“常識人間”を捨てられるか

岡本太郎著

青春出版社

1993.8

就職課 事務職員 磯貝健大

<請求記号>  
青春文庫/お-1

”今までの自分なんか、蹴とばしてやる。そのつもりで、ちょうどいい。”万博記念公園にある『太陽の塔』を制作した、芸術家の岡本太郎の言葉。  
”カッコいい大人の生き方”が載っている本。